

平成31年第1回（3月）吉川市議会定例会

一般質問通告書

3月18日（月）			
質 問 者			
通告第 1号	10番	妹尾	百合子
通告第 2号	6番	濱田	美弥
通告第 3号	14番	五十嵐	恵千子
通告第 4号	13番	小野	潔
通告第 5号	4番	松崎	誠
通告第 6号	12番	小林	昭子
通告第 7号	1番	遠藤	義法

3月19日（火）			
質 問 者			
通告第 8号	17番	稲垣	茂行
通告第 9号	3番	加藤	克明
通告第10号	18番	齋藤	詔治
通告第11号	2番	雪田	きよみ
通告第12号	11番	佐藤	清治
通告第13号	20番	稲葉	剛治

3月20日（水）			
質 問 者			
通告第14号	8番	岩田	京子
通告第15号	16番	伊藤	正勝
通告第16号	9番	林	美希

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 10番 妹尾 百合子	多様な働き方について	<p>就労を希望しながらその実現が困難な環境にある市民（女性、シニア、障がい者など）への支援が必要と考える。</p> <p>①現状どのように認識しているか。</p> <p>②課題解決に向けた取り組みは。</p> <p>③旧庁舎跡地を福祉の拠点としていく考えがある中で、障がい者の就労支援の場となる事も検討していただきたいが如何か。</p> <p>④吉川市産業振興計画において、「雇用、就労の支援とワークライフバランスの推進／女性の活躍推進／子育てや介護と仕事を両立できる女性の働きを推進します」とあるが、働きやすい環境づくりを行うにあたり、リモートワークの推進が課題解決の手法の1つとして有効と考える。見解を伺う。</p> <p>⑤リモートワークの推進を目的とし、市内公共施設におけるインフラ整備（Wi-Fi、電源等）や推進活動の拠点設置を要望するが見解を伺う。</p>	市長 担当部長
通告第2号 6番 濱田 美弥	受動喫煙の副流煙の危険性について	<p>駅前や公共施設周辺で歩きたばこなどの路上喫煙がまだまだ見受けられます。煙に含まれる成分は半径2.5mまで影響するとの実験結果があります。具体的な危険性も厚生労働省から出されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙の危険性について吉川市でどのように認識しているかお示してください。 ・吉川市のたばこ税の徴収金額はいくらですか。市民の健康増進のために活用してはいかがですか。吉川駅・美南駅前、市役所等の公共施設に排煙フィルターの付いた高機能の分煙室の設置を行ってはいかがですか。分煙室設置には地方交付税措置もあります。 ・望まない受動喫煙の防止を図るための健康増進法の一部を改正する法律、2020年の全面的施行に向け啓発活動はどのように行っていますか。また、今後どのように行っていくですか。禁煙ねっと石川の展示パネルの事例も参考にしてお答え頂ければと思います。 ・2020年、オリンピックイヤーに向けて、吉川市路上喫煙禁止条例を作り、煙を外に出さない分煙室でタバコを吸わない方を煙から保護し、吸われる方には落ち着いて吸える環境を整えてはいかがですか。 	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第2号 6番 濱田 美弥	美南小学校のマンモス化対策・吉川市内の小学校について	<p>美南小学校の児童数は1月現在1071人、平成34年には1406人、その後も増え続けるとの予測です。以前にも申し上げましたが、適正な人数は500～700人、これからすると倍以上の人数、3年後を待たずに具体的な対策をすべきです。しかし、吉川市全体の児童数は平成30年度4453人、平成36年度には4129人と減っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都中央区の区が用意したスクールバスが児童を迎えに来て、児童数が少ない4つの学校に分散させ特別な授業が受けられる「特認校制度」の取り組みを参考にしているかがですか。既存の施設も利用でき、学区を事務的に分けられるより、子どもたちがやりたいことを主体的に選ぶことで学習に意欲がわきます。また、スクールバスは旭・三輪野江小でもずっと要望が出ていますし、日中は高齢者などの移動手段の循環バスに活用すれば、校舎建設費用も掛かりません。 ・学校ごとに今ある特色をさらに高め、選べるようにしてはいかがでしょうか。 ・子どもが減っている地域も、学校の統廃合はすべきではありません。地域のコミュニティの核として、避難場所として、普段から活用し、しっかり残していくべきであると考えますが、市のお考えをお聞かせください。 	市長 教育長 担当部長
	吉川市の教育大綱と総合教育会議について	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省から平成27年に示された「教育大綱策定」について会派で自主学習会を開催し、「教育大綱」とは、教育委員会と市長部局が連携して行う事務をどのように進めていくかの指針のことで、吉川市独自の「教育大綱」として作られたものは、教育大綱ではなく、市内の子どもたちに向けた「教育理念」であることがわかりました。理念であれば、教育の中立性から鑑みて「市長」という政治家の「理念」を教育に介入させるわけにはいきません。一旦取り下げ、教育大綱の策定について理解したのち、新たに策定すべきですが、市のお考えをお示しください。 ・また、総合教育会議のあり方について確認させていただきます。学校等の施設の整備、教職員の定数等の教育条件整備に関する施策など、予算の編成・執行権限や条例の提案権を有する地方公共団体の長と教育委員会が調整することが必要な事項について協議することとされていますが、吉川市で行われた過去15回の会議の概要を教えてください。 ・先ほどの質問で申し上げた美南小学校のマンモス校化対策、また、エアコン設置について、吉川美南駅前の商業施設からの図書館施設の提案の検討などはまさに市長部局と教育委員会が連携して協議する事項です。 	教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第2号 6番 濱田 美弥	(続) 吉川市の教育大綱と総合教育 会議について	<p>このような事項が検討されず15回も行われた総合教育会議とは、教育委員会の「総合教育会議」に対する認識はいかがであったのか、お聞かせください。</p> <p>・「教育委員会」は政治的中立を守るために防波堤となるべきです。今後のあり方をお示しください。</p>	教育長 担当部長
通告第3号 14番 五十嵐恵千子	1. 生徒の可能性を伸ばすスリー デイズチャレンジ事業の充 実を	<p>スリーデイズチャレンジとは、中学生の社会体験という授業の一環で、中学生が市内で様々な社会体験活動や多くの人々とのふれあいを通して、望ましい職業観や勤労観を養い、たくましく豊かに生きる力を育むことを目的として、平成12年度から市内各中学校が市内の事業所・商店・社会福祉施設などにご理解・ご協力をいただく中で毎年3日間実施されている、有意義な事業と認識しております。</p> <p>①長年に亘り実施され、益々重要な当事業の実績と現状についてお伺いします。</p> <p>②当事業のさらなる充実を願い、保護者・生徒・事業所から様々なご意見・ご要望をいただいておりますが、各学校へ届いている声や課題、今後の取り組みについてお伺いします。</p>	市長 担当部長
	2. 安全・安心な橋梁の維持・ 改善について	<p>当市は現在、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋の寿命を延ばし、費用の縮減が図られています。</p> <p>①市民から、大地震における橋梁への影響を心配する声がありますが、当計画の概要と進捗状況をお伺いします。</p> <p>②中井橋・市道3-105号線と東大場川が交差する橋・中井沼公園南東角に位置する橋は、道路幅に対し橋の幅が狭く歩道が無いことから危険であるとのご指摘があります。当該箇所の改善計画についてお伺いします。</p>	市長 担当部長
	3. フードドライブの取り組み 実施を	<p>フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。集められた食品は経済的に困窮している高齢者、DVから逃れた方、シングルマザー・ファザーとその子どもたち、求職中の方など、様々な理由で食事に不自由している個人の方々への支援に活用されます。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第3号 14番 五十嵐恵千子	(続) 3. フードドライブの取り組み実施を	<p>現在、家庭の食品ロスを減らして必要な人へ繋ぐ「地産地消」の社会貢献でもある当事業に取り組むNPO団体や民間企業が増えていますが、自治体でもフードドライブの常設化が進んで来ました。</p> <p>平成29年3月議会一般質問にてフードバンク実施の提案をさせていただきましたが、その提案とも重なる重要な取り組みであると考えます。フードドライブの取り組み実施について、当市のご見解をお伺いします。</p>	市長 担当部長
通告第4号 13番 小野 潔	高齢者・要援護者見守り支援について	<p>一人暮らしの高齢者数は高齢化社会へ向けて年々増加しております。平成24年度では1795人であったのが平成30年度では約1.9倍の3325人となっております。</p> <p>第5次吉川市総合振興計画後期基本計画第3編第2章第1節「市民が参加する福祉のまちづくり」の中に支援体制の構築があります。「要援護者が住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるよう、地域での見守り体制を支援します」とあります。①ここでいう「地域での見守り体制の支援」とは具体的にはどのような事ですか、お尋ねいたします。また②要援護者見守りネットワークの協定事業所数。現状値57(平成27年度)、目標値120(平成33年度)との記載がありますが、現状での協定事業所数、主な事業者内容を教えてください。③協定事業所や地域住民の見守りからくる、ここ数年の市への情報提供数、主な情報内容等を教えてください。④見守り支援体制の今後と課題についてお伺いいたします。</p>	市長 担当部長
	日本人と外国人の婚姻等届け出について	<p>近年当市における外国籍住民の推移は毎年増加傾向にあります。平成27年1256人、平成28年1358人、平成29年1486人となっております。日本人と外国籍の方との婚姻、国際結婚も増加傾向にあると思われまます。市民課に於ける外国籍の方との各種届出時の窓口対応も煩雑化、多様化が見込まれるところであります。特に婚姻届け出では、様々な国籍の方の対応が必要となっていると思われまます。そこでお伺いいたします。①日本人と外国籍の方とのここ数年の婚姻届け出の推移をお聞かせください、また当市に於ける主な外国籍の方届け出をお教えてください。②外国籍の方の対応に際し複雑化している事と思われまます、職員のスキルアップ等の研修状況をお教えてください。③日本人と外国人の婚姻等届け出についての課題と今後についてお教えてください。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第4号 13番 小野 潔	現年度課税分徴収について	<p>平成31年度施政方針の中で“財政運営については、引き続き現年度課税分の徴収に重点を置き、滞納額の縮減に努めてまいります。また給食費や保育料など税外債権につきましても、各債権担当課と連携を図りながら、公正かつ公平な負担の適正化を図ってまいります。”とされております。そこで伺いたします、①過去5年間の市税等の徴収率の推移をお示してください。②平成28年12月から平成29年本格的に導入した現年度課税分徴収の効果と市民の反応をお示してください。③徴収率アップに当たっての課題、今後についてお考えをお聞かせください。</p>	市長 担当部長
通告第5号 4番 松崎 誠	農地の維持管理について市の支援策は	<p>農地を維持管理し、再生利用していくことは、農産物の生産基盤を確保し食料を安定的に供給するという本来の役割のみならず、水源の涵養や温暖化防止、景観保持といった防災、環境保全等の多面的機能を有しています。また、農地を効率的かつ生産性の高い生産資源として、形成していくためには、地域の実情を踏まえた水利施設や農道等の整備改修が必要です。農道や農業用排水路の老朽化が目立ち、こうした共有施設の維持管理作業は農業現場では相当な負担となっています。農道や農業用水路の点検、簡易な補修など日々の維持管理は各地区の関係者の皆様によって管理されていますが、こうした施設は周辺住民の生活と密接にかかわっており、たとえば農道は生活道路として、農業用水路は周辺住民の排水路として利用されています。特に市街地近郊の農業用施設については、その傾向が強く関係農家だけに維持管理を任せることが今後困難になると思われます。維持管理について行政の支援が必要かと思われませんが市の見解を伺います。</p>	市長 担当部長
	市街化調整区域の道路整備について	<p>市街化調整区域の道路整備について 市街化調整区域の市道の舗装整備をどう進めていくのか。要望者への対応はどうしているか。また、市街化調整区域における道路補修の件数と請負金額は。</p>	市長 担当部長
	松高地区にある資材置き場について	<p>松高地区にある資材置き場について 現在、資材置き場として利用されている土地以外に市道にも車両が放置されているように見受けられます。現状の把握と今後の対応について伺います。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	1. 公民館、庁舎内貸会議室に政党の利用制限の緩和を	<p>千葉市は「公民館における使用制限の一部緩和について」として、政党が行う市政報告会、県政報告会について不特定多数を対象としている場合、「地方政治は、市民に、より身近なものであるため、その報告会については、市民の知る権利に配慮し、使用制限を緩和する」として許可しています。他の自治体においても同様な対応をしています。</p> <p>吉川市においても、このような立場に立ち、公民館、庁舎内貸会議室の政党の利用制限を緩和すべきと考えますが、対応は。</p>	市長 教育長 担当部長
通告第6号 12番 小林 昭子	2. 旧第三保育所跡地活用に地域の切実な声を	<p>当初、コビープリスクールよしかわ保育園の美南移転に伴い、1月には解体する予定でした。しかし、第二保育所の建て替えから、その間第三保育所での保育を行うことになりました。</p> <p>市はこれまで、土地は市の所有であり、関連した活用をしたいと説明してきました。当該地域においては公園など、子育て世代の交流の場として高齢者にとっても、子どもたちにとっても居場所がほしいとの要望が強くあります。この要望に応えられる施策をすべきです。市の考えを伺います。</p>	市長 担当部長
	3. きれいなまちづくり	<p>吉川市の三分の二を占めている調整区域を我が市のまちづくりにどう生かすか、大きなキーワードです。</p> <p>以前の質問でも、市内の魅力ある「路地裏」について質問しました。多彩な植物、生物、風景に囲まれている路地を歩くにつけ、①まず草刈り、樹木刈りの技術アップで、水路、小道等がよみがえると考えますが、対応策は。②農村センター計画について。③大沢知事記念公園について。④大場川の改修。これら地域のきれいなまちづくりに合わせた改修を求めます。</p>	市長 担当部長
通告第7号 1番 遠藤 義法	1. 幼児教育の無償化にあたって市の姿勢は	<p>政府は、消費税増税に伴い幼児教育の無償化を掲げています。無償化については評価できますが、問題が多々あります。市の対応をお聞きします。</p> <p>①保育所・園で国の財源負担が私立の場合1/2で、県と市が1/4ずつとなっていますが、公立の場合は自治体が10/10負担となっています。さらに給食費については保護者負担が残ります。これらの点について市の考えと政府に対して私立と同じ財政負担を求めるべきであり、給食費についても無償にと考えます。見解は。</p> <p>②市は、昨年公立保育所を民間委託せず、公立で存続させる方針を明らかにして、第2保育所の建て替えをすすめています。今後も公立保育所継続の考えに変わりはないか。</p> <p>③公立保育所の役割をどのように考えているのか。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第7号 1番 遠藤 義法</p>	<p>2. 市の施策検討のあり方と職員の英知を集める組織づくりを</p>	<p>市民要望に的確に、そして積極的に応える施策が求められています。とりわけ政府は「地方創生」を掲げ、人口減少やむなしを前提に「個々の市町村が行政サービスを全部提供する必要はない」という方針から、広域連携による行政の集約化と民間委託をすすめています。こうしたなかで市が、地方自治法に基づいた施策実施でサービスを向上させることは重要と考えますが、市長の考えをまずお聞きします。</p> <p>次の点について具体的に伺います。</p> <p>①市民意識調査の結果をどの部署で、どのように調査し、課題をまとめるのか。施策立案と実施に向けての担当はどこか。</p> <p>②市の事業として専門性と継続性が求められる担当部署があると考えます。職員が異動することによりその蓄積が事業に影響を及ぼす事もあるのではないかと。今後の職員配置などについての考えは。</p> <p>③課題によっては施策のトップダウンもあり得ますが、その場合の事業に向けての検討はだれがどのようにまとめあげていくのか。</p> <p>④課題別に多方面から検討する職員の組織が必要ではないかと。</p> <p>⑤吉川美南駅東口周辺整備における公園の集約化と財政負担。高齢者のタクシー利用料助成事業。おあしすと新庁舎の一体整備。関公園等公園再生プロジェクトなど具体的施策について課題と検討内容、結論に至った経過について。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第8号 17番 稲垣 茂行</p>	<p>第2期中原市政スタートにあたり</p>	<p>先の市長選挙において再選を果たされた中原市長に対し、市政運営の基本的な考え方についてご質問いたします。また、改めて「まちづくり」に対する思い、手法等について伺います。</p> <p>1. 先の市長選挙の結果(得票率24,777 中原恵人候補14,027票 吉川としゆき候補10,750票 投票率43.25%)をどう受け止めたのか。また、今後4年間の市政(まちづくり)をどのように進めて行くのか。その考え方と進め方。</p> <p>2. 市長選挙で「政策リーフレット」と「第5次総合振興計画後期基本計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係。「政策リーフレット」の意味と位置付け。</p> <p>3. 二元代表制での「市長」・「議会」の役割と関係について、どのように認識されているのか。</p> <p>4. 市民参画について。「市民参画条例」をどのように理解し、実践しているのか。意見の収集、情報の提供・共有をどのように行うのか。</p>	<p>市長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第8号 17番 稲垣 茂行	(続) 第2期中原市政スタートにあたり	5. 「はーとふる・ぽっと」の利活用と「おあしす改修」についての考え方と進め方。 6. 「演劇プロジェクト」を文化芸術の旗手事業とする理由及び予算付けの根拠。 7. 市職員の「育成」と組織の「活性化」に対する考え方。	市長
通告第9号 3番 加藤 克明	施政方針にある「まちの価値を高める」について 「元気・健やか・幸せのまちづくり」について	4百有余年の歴史ある「吉川八坂まつり」、吉川駅北口での「あばれ神輿の競演」が、地元の町会、八坂祭り青年会、実行委員会等で検討されており、「よしかわ観光協会」を通じて支援し、一層盛り上げていくとありますが、何を何処まで支援していくのか、見解を伺う。 「総合運動公園」について、今まで「検討するために、研究してまいります」と答弁をいただいておりますが、今回、「具体的な検討を行ってまいります」と施政方針にあります。検討するために実質的に何回協議されましたか。 また、何か所か視察に行かれたと伺っておりますが、視察した総合運動公園、最近できたものの完成年月日、規模、総工費を伺います。	市長 市長
通告第10号 18番 齋藤 詔治	吉川美南駅東口駅前公園予定地は、吉川美南霊園周辺に配置を	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の現計画の変更を望む地権者が増えています。 ・駅前公園を、吉川美南霊園周辺に移動し、現公園予定地は住居ゾーン・沿道サービスゾーン等に変更へ。今仮換地の説明が行われていますが、多くの地権者より、駅前公園に不満の声が上がっています。地権者への合意形成を図り、スムーズに換地作業を推進する為、土地利用計画を見直し、換地の変更をしては如何か。 ・計画されている東口駅前広場は現西口駅前広場より狭く、吉川市の新たな玄関口として、吉川市全体の将来のまちづくりを視野に計画面積の倍、10,000㎡程度に拡大すべきと考えます。また駅から市内へのアクセス道路は、交通渋滞が予想されます。道路形状も併せて検討すべきと提案いたします、如何か。 ・現計画は中原市長が駅前開発の企画を掲げて、市長就任後今迄の計画を即変更しましたが、さらなる変更をお伺いします。 ・現在の商業ゾーンの計画が、越谷レイクタウン内のイオン方式(経営主体が一社であり、個別では利用できない契約)の様に個別で利用が出来ない換地計画です。土地利用は一社での利用も、今後の社会状況変化へのリスク対応策として、商業ゾーンを個別でも土地利用が図れる形状に換地の変更をすべきでは、お伺いいたします。 	市長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第10号 18番 齋藤 詔治	三輪野江地区インター周辺の農業パーク構想はやめて(場所が問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・市長選挙で示したイラストにより、三輪野江地区での農業パーク構想は取り止めて頂き、まずは吉川市の財源確保や雇用の拡大への重要な拠点として、三郷市と共に新しいまちづくりの推進を願います。 ・中原市長2期目に向け、三輪野江地区での農業パーク構想が示されました。又、読売新聞の記事にも掲載されました。農業パーク構想自体は、首都近郊の吉川市にとって最良であります。 ・しかし、場所が問題です。イラストの三輪野江地域は、三郷市によって江戸川に橋を架け、つくばエクスプレス三郷中央駅方面から、現在のスマートインターまで4車線道路が新設され、インターに接続する事によりフルインター化が可能となります。 ・フルインター周辺の開発が出来ますが、吉川市・三郷市それぞれ単独で事業を進めるには、土地の行政境も双方入り組んでおり、開発事業の許認可や財政援助負担も、国や県のご指導を頂かなければ成りません。吉川市と三郷市が共同で事業開発に取り組むことによって、今日、土地所有者の皆様にも明るい未来が約束されます。この地域に吉川市が単独でイラストのような農業公園を造ることは止めて、三郷市と広域行政で新たなまちづくりに取り組んでいただきたいと願いますが如何か。 	市長
	真のまちづくりに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にも、多くの地方自治行政が成り立たなくなっている今、中原市長は、「吉川市が、吉川市独自の」と述べられております。今後、吉川市単独での市民サービスは難しくなって来ると思います。既に広域行政事業は連携し実施しています。吉川市・三郷市・越谷市・松伏町との協調連携によるまちづくりを積極的に推進する事によって、市民が満足できるサービスが得られます。近隣市町による共同連携のまちづくりは、国・県との協調連携にも繋がり、まちづくりの推進に無駄がなくなります。積極的に進めて頂きたいが如何か。 	市長
	旧庁舎跡地の杭抜き埋戻し工事後に今後予想される問題解決へ十分な調査の実施を	<ul style="list-style-type: none"> ・旧庁舎跡地の杭抜き埋戻し工事により、今後発生すると予想される地盤沈下等による隣接地被害対策として、専門家による十分な調査の実施を早急に行って頂きたい。今後の瑕疵担保責任が追及されないよう努力すべきです。 ・今日の杭抜き状況の報告をお願いいたします。 	市長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第10号 18番 齋藤 詔治</p>	<p>関公園に、インストラクターを要するアスレチック施設は不要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関公園に関する説明会が平成30年6月19日及び24日に開催され、公園内に子供の貧困家庭の第三の居場所として、建物を建築するとの説明がなされましたが、出席者の多くから反対され事業計画は、撤回になりました。 ・説明会のもう一つの案件は、関公園再生プロジェクトとして、関公園内に筑波大学監修によるインストラクターを要するアスレチック施設を設置したいと中原市長自ら、ホワイトボードに施設の絵を描き説明がなされました。インストラクターを要する施設はいらないとの発言も多くありましたが、今年2月に事業実施に向け、再度説明会が市職員により開催されました。多くのご意見がありましたが、公園の規模や駐車場未整備等から関公園にインストラクターを要するアスレチック施設を設置することは、不要と考えますが如何か。 	<p>市長</p>
<p>通告第11号 2番 雪田 きよみ</p>	<p>1. 自衛隊員募集に関する協力状況は</p>	<p>2月10日に開催された自民党大会で、安倍首相が自衛官募集をめぐって「自治体の6割以上が協力を拒否している」と発言したことが波紋を呼びました。一方で、協力状況は自治体によって差があることが明らかになりました。</p> <p>①吉川市では、具体的にどのような募集協力をしていますか。</p> <p>②2014年7月の集団的自衛権行使容認の閣議決定、2015年9月の安保関連法の採決により、自衛隊員の任務・負担・リスクは以前とは比較にならないほど増大しています。自衛隊員の募集協力にあたり、このようなリスクについては説明されているのでしょうか。</p> <p>③昨年の市民祭りでは永田公園内の自衛隊員募集のブースが設置され、多くの市民から「違和感を感じる」との声が寄せられています。ブース設置に向けてどのような議論がなされたのでしょうか。また、今後も同様の対応をしていく計画でしょうか。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>2. 地域包括支援センターの職員負担軽減を</p>	<p>高齢社会が進行する中、地域包括支援センターの役割がますます重要になっていると感じています。地域包括支援センターの役割は、介護予防ケアプラン作成、総合相談、地域ケア会議の開催、ケアマネージャーへの個別相談・アドバイス、支援困難事例等への指導・アドバイスなど多岐にわたるとともに、非常に高い専門性が求められています。負担軽減を図りながら、業務委託していく仕組みが必要だと考えています。</p> <p>①地域包括支援センターの業務実態を教えてください。</p> <p>②地域包括支援センターの職員を支える仕組みについて、現状を教えてください。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第11号 2番 雪田 きよみ	(続) 2. 地域包括支援センターの職員負担軽減を	③地域包括支援センターは概ね中学校区に一つとされています。吉川中学校建設が進められている中、第4包括支援センターの設置が必要と考えています。いかがですか。	
	3. 読書のまちづくり推進を	高齢社会が進行する中で、認知症予防や介護予防が重視されています。予防というと運動や食事が重視されがちですが、読書の認知症予防や健康寿命延伸効果が近年注目されています。市には現在「子ども読書活動推進計画」が策定されています。また図書館では様々な読書活動が展開されています。しかし、図書館まで行かなくても本が借りられるような仕組みは今のところまだありません。赤ちゃんから高齢者まで全ての人が本に親しむことができ、豊かな人間関係を育み、健康に生きられるよう、読書のまちづくりの推進を期待したいと思います。ご見解はいかがでしょうか。	市長 担当部長
通告第12号 11番 佐藤 清治	防災対策は	<ul style="list-style-type: none"> ・第2大場川の整備はいつになるのか ・南中周辺は遊水地の整備が必要ではないか ・須賀、榎戸はポンプだけでは不十分で遊水地などの設置の考えは ・吉川駅東側隧道の対策は木売落しの対策で解消できるのか ・地震での死者は建物の倒壊によるものが多い、耐震対策の必要な件数と促進策は ・中川河川改修の早期完成を要望することとしているが見通しは 	市長 担当部長
	関公園整備計画は	<ul style="list-style-type: none"> ・関公園整備は大変遅れている。施政方針もふれているが整備を急ぐべきである。ほかの公園については並行して改修をすすめるとしているが具体的な内容、整備時期は ・総合運動公園の整備の見通しは 	市長 担当部長
	工業団地の整備は	<ul style="list-style-type: none"> ・後期基本計画では情報収集と開発手法を研究し事業化を図りますとしているが見通しは 	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第13号	選挙事務について	<p>選挙に関わる事務の窓口になる職員の方々の存在というのは非常に重要です。選挙事務に携わる職員の方々には、今後もルールに則り公正公平な選挙が行われるようご尽力頂ければと考えています。</p> <p>1 公平・公正な選挙事務の執行について</p> <p>(1) 選挙事務を行うにあたって、職員の研修や引き継ぎ等どのような取組みを行っているか</p> <p>(2) 今回の市長選挙において市民から選管にどのような問い合わせがあり、どのように対応したのか伺います。</p> <p>(3) 今後の選挙事務の対応について伺います。</p> <p>2 投票環境の向上に向けて</p> <p>(1) 移動投票所についての現状と見解について伺います。</p>	市長 担当部長
20番 稲葉 剛治	まちの価値を高めるについて	<p>「きぼうの桜」植樹に関して</p> <p>児童館の30周年記念事業として実施した国際宇宙ステーションとの交信事業で、金井宣茂宇宙飛行士とリアルタイム交信を行い、参加した多くの子供達に夢や希望が届き、金井宇宙飛行士の講演会も予定されているなど、宇宙と吉川市が繋がり、更に東日本大震災の復興のシンボルである「きぼうの桜」が植樹される事が決まりました。植樹式には講演会に引き続き金井宇宙飛行士も出席の予定と聞いています。「きぼうの桜」を植樹するという事を通じ、災害と復興の記憶の継承、桜の苗木を山梨県北杜市まで受け取りに伺い関係自治体との交流会など、自治体間の交流も図られているのではないかと考えています。「きぼうの桜」を植樹する事には様々な意味、可能性があると思っております。</p> <p>1 「きぼうの桜」植樹の意義について伺います。</p> <p>2 植樹式のスケジュール、内容について伺います。</p> <p>3 観光資源として今後どのように育み展開していく考えか伺います。</p> <p>4 復興支援など自治体交流について今後考えている事があれば伺います。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第14号 7番 岩田 京子	SDG s (Sustainable Development goals: 持続可能な開発目標) の取組について	①シンポジウムへの担当職員の参加について、その内容について。 ②平成 31 年度の予算編成方針に当たり、各担当課のそれぞれの事業においてどのように SDG s に関連するか考えてほしいとの市長の考えが示されたというが、各担当部での見解と今後の具体的取組みについて。 ③各部において、その事業をすすめるにあたり、連携すべき団体などがあつたらお聞かせください。 ④施政方針の中で「なまずによるSDG s の推進」が話されましたが、具体的な取り組み内容について。 ⑤「エネルギービジョン」策定に向けた具体的な方向性（メンバーや会議の回数等）。 ⑥SDG s の取り組みを市民にも知っていただくことが大切と答弁され、階段の蹴り上げ面へSDG s の項目を掲示すること含め、検討するとしたが、その後、どのような検討をされ、どう啓発をしているのか、もしくは今後どのようにしていくのか。 ⑦自動販売機のペットボトルの今後の取り扱いについて。 ⑧給水場の設置について。	市長 教育長 担当部長
	SDG s3 「すべての人に健康と福祉を」 香料自粛の取組みについて	①現在のポスターの設置場所。 ②職員への啓発について。 ③学校での取組みについて。 ④消費者問題として市民への啓発について。 ⑤宮城県名取市は化学物質過敏症が「障害者差別解消法」の対象になることを確認しているが、吉川市での見解はいかがか。	市長 教育長 担当部長
	SDG s 15 「陸の豊かさを守ろう」 市の樹木に対する考え方	①吉川市の緑のネットワークに関する考え方。 ②指定樹や指定樹林などに対する働きかけ。 ③樹木の剪定方針。 ④樹木の抜本等において、生物多様性の視点からのアドバイスや担当課のアドバイスをもっているのか。 ⑤関公園の抜本について、H31 年では何本の木を抜本する予定か。	市長 教育長 担当部長
	SDG s 4 「質の高い教育をみんなに」 小学校での英語教育について	①現行の小学校での英語教育のあり方 ②2020 年からの吉川市での取組みについて	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	2期目に臨む姿勢と施政について	<p>再選のお祝いを申し上げ、2期目に臨む姿勢と施政の基本方針についてまず伺います。代表質問や議案質疑。先行の一般質問の答弁内容を踏まえたうえで総括的に伺います。</p> <p>質問は▽選挙の結果をどう受け止め、2期目をスタートするのか。1期目との違いは何か。「三位一体」の言葉が消えたが基本的考えを確認したい。▽総合振興計画では「共想・共創」のもと市民と協働のまちづくりと唱っているが市長は共動にこだわっている。総振を見直すのか。▽国、県と連携の政策展開について。留意している主要施策について。市政との関連でご紹介を。▽「第4次産業革命」AI。IT。その進展や活用の方向について。SDGs。環境を意識した事業計画は共通の課題。市の施策にどう盛り込み今後拡充していくのか伺います。県は格差拡大の状況を直視し、「子どもの支援」を柱のひとつにしている。市の取り組みは如何ですか。</p>	市長 教育長 担当部長
通告第15号 16番 伊藤 正勝	行政運営について	<p>▽「市民と行政の共動」。市民の主体的参加の意味。▽市長キャラバン。どこでも市長。ランチミーティング。政策決定の一步目を共有できているのか。形がいか化してないか。▽美南駅開発の2回のキャラバンの総括。駅西口側との関係はどう考えるのか。今後の進め方を聞きたい。▽あわせてこの「整備計画」の進展状況について伺います。▽キャラバン、ランチミーティングのテーマの選定。事前の準備作業が必要では。情報の公開についても考えを聞きたい。▽ランチミーティングは全国的に事例がありますか。市長が学校を定期的に訪問。児童・生徒数人と給食を食べ会話。非公開です。4年間の総括と今後の取り組みを伺いたい。▽教育委員会の見解。学校現場やPTAの関与や反応についても説明ください。▽志教育とランチミーティングの関係、関連があればご教示ください。</p>	市長 教育長 担当部長
	人事管理について	<p>人づくりと働き方改革は国策の柱。▽働き方改革に対する市長の認識と見解を伺います。人事管理は▽各種業務や計画等の推進、手法とも連動すると思われるが見直しについては如何か。▽職員の働く意欲や住民のニーズに的確に対応できる組織運営、人事管理になっているか。改善点があれば伺っておきたい。</p> <p>正規職員と臨時職員などとの適正な組み合わせは如何か。▽「会計年度任用職員制度」。32年度から臨時職員の任用、処遇の見直しが図られる。そのポイント。進展のスケジュール。財政負担を含め課題は。▽厚労省からの若手キャリア。2年間の出向期間終了へ。活用状況、評価。今後については。▽国、県との交流人事についての考え。実状と今後。近隣自治体との交流についても実状、方針をご説明ください。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第15号 16番 伊藤 正勝	財政運営について	市税等の滞納額の縮減。その取り組みと効果の実状。関係納税者の反応について。警察OB職員の出番はありましたか。▽給食費、保育料等税外債権の最近の動向。その取り組みは。▽一部自治体で給食費の無料化の動きも。吉川市はどう考え取り組むのか。▽「公共施設の長寿命化計画」について。個別の調査・検証の対象は。▽総合的適正管理について具体的にご説明を頂きたい。▽年次のプラン。優先順位。国や県管理の道路などの長寿命化。隣接自治体との連携や連動はどうなっているか。▽行財政改革の計画。人事・要員管理の計画の見直しは如何ですか。伺っておきます。	市長 教育長 担当部長
	市長主導の施策。 「信頼」と「納得」の必要。	「文化芸術を総合政策として推進」の基本的な方針。そのポイントと当面の取り組み。総合的な政策としての展開というが狙いや発展の方向。旗手事業としての取り組みについても伺います。 ▽おあしすの改修。旧庁舎跡地の福祉拠点化はどう進めるつもりか。▽大切なのは市民の「信頼」と「納得」。説明責任が問われていると受けとめています。	市長 教育長 担当部長
	「寄付文化」の定着。 基盤を。	行政がやるべきことは何か。税金を投入する行政にはおのずと一定の制約があると考え。市長主導の演劇振興は外部からの「寄付」を募って進めてはどうか。10万人以下の自治体で演劇振興に公金を投入している事例があれば紹介を。「子どもの支援」を柱に善意の「寄付文化」を呼びかけ基盤を固める。食料品の寄付なども念頭に是非検討し踏み出してほしい。	市長 教育長 担当部長
通告第16号 9番 林 美希	保育について	①保育行政について ・市が雇用する正規職員保育士の役割を示す必要があると考えるが、見解を伺う。 ・子育てを取り巻く環境の変化を鑑み、市における保育のあり方を示す必要があると考えるが、見解を伺う。 ②保育無償化実施を見据え、保育の質を保つために ・市において無償化の対象となる認可外保育施設・事業（居宅型含む）の数を伺う。 ・市における無償化の対象となる認可外保育施設・事業（居宅型含む）のうち指導監督基準を満たさない施設の有無、および数を伺う。 ・市の保育の需要と供給を鑑みた上で、無償化の対象となる認可外保育施設・事業（居宅型含む）の範囲の設定の必要性の有無を伺う。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第16号 9番 林 美希	(続) 保育について	③病児病後児保育について ・インターネット予約など利便性の向上を要望してきたが、進捗状況を伺う。 ・平成30年7月に実施された病児病後児保育事業に関するアンケート調査結果について、市の見解を伺う。 ・病院併設型から、保育施設併設型への移行を検討してはどうか。	市長 担当部長
	児童虐待について	民法第822条により、親権者は監護及び教育に必要な範囲内で子を懲戒することができる」と規定されている。(平成31年2月19日時点、法務大臣が検討を開始したいと表明) 民法注釈書である新版注釈民法(25)において「懲戒のためには、しかる・なぐる・ひねる・しばる・押し入れに入れる・蔵に入れる・禁食せしめるなど適宣の手段を用いてよいであろう(以下、省略)」とある。 ①親権者による、しつけを目的とした体罰に対する市の見解は。 ②しつけを目的とした体罰の禁止を示すべきと考えるがどうか。	市長 担当部長
	協働のまちづくりについて	施政方針では、「市民との協働を前進させるため、『地域課題を地域住民が主体的に解決するための取り組み』について、自治会を中心とし、市民と専門家等を交え研究していく」とあるが、詳細を伺う。	市長 担当部長
	ペットと共生するまちづくりについて	①吉川市は、ペットが飼い主へ与える影響をどのように認識しているか伺う。 ②市が市内のペットについて把握する内容について、把握している種類と、把握している数(種類別)を伺う。 ③減災において ・避難所において、ペットとの同行避難をしてきた市民への備えの有無と内容を伺う。 ・ペットと同行避難のため日頃の備えや避難所におけるマナーについて、市民への周知・啓発の有無と内容を伺う。 ④市に寄せられるご意見のうち、ペットに関わる苦情の有無と内容、また、寄せられたご意見への対応を伺う。 ⑤ペットと共生するまちづくりについて ・比較的平均寿命が長いペットの数の把握を目的に、現在市が把握しているペットの種類拡大を検討してはどうか。 ・市内公共施設において、リードポールの設置を検討してはどうか。 ・今後のまちづくりの中で、ドッグラン整備の予定はあるか。	市長 担当部長